

(別紙様式1)

平成29年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 宮崎県
農業委員会名： 五ヶ瀬町農業委員会

I 農業委員会の状況(平成29年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	598	農業就業者数	641	認定農業者	75
自給的農家数	208	女性	286	基本構想水準到達者	0
販売農家数	390	40代以下	67	認定新規就農者	4
主業農家数	127	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	89			集落営農経営	1
副業的農家数	174			特定農業団体	0
				集落営農組織	1

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	474	287				761
経営耕地面積	225	153	81	64	8	378
遊休農地面積	0.49	0.24	0.24			0.73
農地台帳面積	470	423	329	94		893

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 2 9 年 7 月 1 9 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	10	10	1	1	1	2	5	15
認定農業者	—	3					0	3
女性	—	1				2	2	3
40代以下	—	0					0	0

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 年 月 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数					
認定農業者	—				
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—				
40代以下	—				
中立委員	—				

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	761ha	285.41ha	37.50%
課 題	担い手に農地の集積を図っていく必要があるが、高齢化による担い手不足が深刻化してきており、農業全体の課題とともに包括的に解消していく必要がある。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 2.0 ha (うち新規集積面積 1.0 ha)
	目標設定の考え方: 担い手への集積 1.8ha 認定新規就農者 0.2ha
活動計画	現時点で遊休化している農地の解消を図りつつ、中間管理事業等を活用し、担い手への集約を促進する。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	1 経営体	1 経営体	2 経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	0.57 ha	0.31 ha	1.95 ha
課 題	農業次世代人材投資事業の制度改正により、より新規参入者に関係機関と連携して積極的に関わる必要が出てきた。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成29年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	0.2 ha
活動計画	SAP協議会等青年就農者の会合を通じて、新規就農希望者の情報収集を行うとともに、農業次世代人材投資事業など参入にあたっての補助制度の周知を行う。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	761ha	0.73ha	0.10%
課 題	耕作条件が悪かったり、有害鳥獣による被害により耕作放棄地となったり、担い手不足により耕作放棄されるケースもある。農業全体の課題とともに包括的に解決していく必要がある。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 0.07 ha			
	目標設定の考え方:条件がよいのに耕作放棄地になっているところは、担い手への集約を促す必要があり、なおかつ受け皿となる担い手の確保が必要。			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		18 人	4月～9月	8月～10月
	調査方法	調査員と農地相談員による現地調査		
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		10月～11月	2月～3月	
その他				

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成29年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	761ha	0.18ha
課 題	今後も引き続きパトロールを行っていく。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成29年度の活動計画

活動計画	利用状況調査にあわせ、パトロールを実施する。
------	------------------------

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入